

【開宗の文】  
かいしゅうもん

（漢文）

いっしんせんねんみだみようごう  
一ぎようじゆうざが心ぎ專ぎ念ぎ弥ぎ陀ぎ名ぎ号ぎ  
行住坐臥

ふもんじせつくごん  
不問時節久近  
念々不捨者  
ねんねんふしやしや

ぜみようしようじようしごう  
是名正定之業  
順彼佛願故  
じゆんぴぶつがんこ

（和文）

いっしんもつぱ  
一心に専ら弥陀の名号を念じて、  
みだみようごうねん

ぎようじゆうざが  
行住坐臥に時節の久近を問わず、  
じせつくごんと

ねんねん  
念々に捨てざる者、これを正定の  
ものしょうじよう

ごうな  
業と名づく、彼の佛の願に順ずる  
かほとけがんじゆん

ゆえ  
が故に。